



47:1 ヨセフはファラオのところに来て、報告した。「私の父と兄弟たち、また、その羊の群れ、牛の群れ、そして、彼らの所有するものすべてが、カナンカナンの地から参りました。今、ゴシェンゴシェンの地におります。」

47:2 彼は兄弟の中から五人を連れて来て、ファラオに引き合わせた。

47:3 ファラオはヨセフの兄弟たちに尋ねた。「おまえたちの職業は何か。」彼らはファラオに答えた。「しもべどもは羊を飼う者で、私どもも、私どもの先祖もそうでございます。」

47:4 また、彼らはファラオに言った。「私たちはこの地に寄留しようとして参りました。カナンカナンの地は飢饉飢饉が激しくて、しもべどもの羊のための牧草がございません。どうか、しもべどもをゴシェンゴシェンの地に住まわせてください。」

47:5 ファラオはヨセフに言った。「おまえの父と兄弟たちが、おまえのところに来た。」

47:6 エジプトエジプトの地はおまえの前にある。最も良い地に、おまえの父と兄弟たちを住まわせなさい。彼らをゴシェンゴシェンの地に住まわせるがよい。彼らの中に有能な者たちがいるのが分かったなら、その者たちを私の家畜の係長としないさい。」

47:7 それから、ヨセフは父ヤコブを連れて来て、ファラオの前に立たせた。ヤコブはファラオを祝福した。

47:8 ファラオはヤコブに尋ねた。「あなたの生きてきた年月は、どれほどになりますか。」

47:9 ヤコブはファラオに答えた。「私がた

どってきた年月は百三十年です。私の生きてきた年月はわずかで、いろいろなわざわいがあり、私の先祖がたどった日々、生きてきた年月には及びません。」

47:10 ヤコブはファラオを祝福し、ファラオの前から立ち去った。

47:11 ヨセフは、ファラオが命じたとおりに、父と兄弟たちの住まいを定め、彼らにエジプトエジプトの地で最も良い地、ラメセスラメセスの地に所有地を与えた。

47:12 またヨセフは、父と兄弟たちとその一族全員を、扶養すべき者の数に応じて、食物を与えて養った

神を信じる人々と、信じないで無視または争って生きる人々とは、当然相容れないことが生じます。信じない人々からすれば、人間中心の視点しかありませんから、当然信仰者を融通のきかない人間と思うでしょう。互いにストレスや争いが生まれます。ヤコブ一族がエジプトエジプトの中心から離れて暮らすことは、そのような点で示唆を与えてくれます。

私たちもやはりどこか、不信者と一線を画す必要があるのです。それは住む場所というような見える部分だけではなく、人生の目的や使命、または倫理観や人類愛というようなことかもしれないし、何よりも主のみこころを第一にするという生き方です。

エジプト人は進んだ農耕民族で、それゆえ遊牧民をさげすみ、さらには忌みきらうようになっていましたが、それさえも信仰のために用いられました。それゆえ異教の地から離れて暮らすことが容易になったのからです。

人は低く見られたり評価が足りないと、憤慨したり画策しやすいものですが、気にする必要はありません。主がすべてご存知ですし、それを用いて恵に変えてくださることもあるのですから。

兄たちが弟ヨセフを奴隷に売るなどという罪があり、奴隷でありしかも冤罪で入獄するという絶望があり、生きて行けないききんがあるというように、人間には様々なマイナスの出来事がありますが、神様はご自身の計画と愛のゆえに、それらを驚くべき恵に変えてくださいます。

ゴシェンゴシェンは王の家畜が飼われるほど、牧畜に適したところで、そこで平安のうちに暮らすことができるようになりました。そしてそこでエジプトのために王の家畜の係長として責務を果たすことにもなるのです。信仰者は主の恵によって生き、社会のために貢献しながら、よき証し人として生きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

